広報
さめがわ

昭和63年
5月号
No. 413
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



ふるさとの自然をいつまでも美しく
― 春季清掃・道路河川愛護作業 ―

鮫川村恒例の春季清掃と道路河川愛護作業が、4月24日早朝から村内一斉に行われました。

この日は、全戸総出で受持区域の道路整備や側溝の土砂上げ、道路河川のゴミ収集など熱心な作業が続けられました。

また、村内の小・中学生も参加して道路沿いの空きカン拾いを行いました。

ふるさとの自然をいつまでも美しく保つために、皆さんのご協力をお願いします。

5月1日～31日　児童福祉月間
5月1日～31日　赤十字社員増強運動月間
5月10日～16日　愛鳥週間

今月の人口
（5月1日現在）

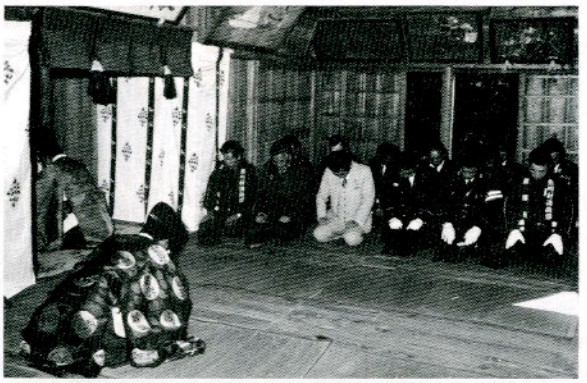
		前月比
人口	5,447	(−13)
男	2,686	(− 1)
女	2,761	(−12)
世帯数	1,134	(+ 7)

誓いも新たに 消防団主催 無火災祈願

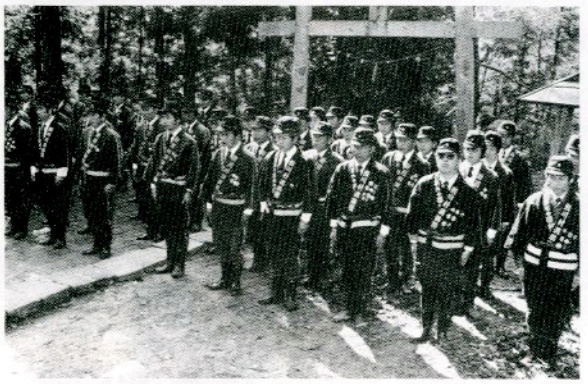
昭和六十二年四月二十四日に発生した江竜田地内の林野大火災から、ちょうど一年目にあたる四月二十四日、鮫川村消防団主催による無火災祈願が午前八時三〇分から道少田地内の八幡神社で行われました。

祈願には、団長、副団長、各分団の第二班長以上と芳賀村長、蛭田村議会議長、遠藤棚倉消防署鮫川分署長ら八四名が出席し、祝詞奏上の後、今後村内で火災がおこらないようにと祈りを込めて松崎団長と村長など来賓が玉串奉奠を行いました。

このあと、消防車輌による村内一周の防火パレードが行われました。



▲ おごそかに行われた無火災祈願



▲ 第二班長以上の団員も八幡神社境内に整列



▲ 消防車輌による防火パレード

交通安全講習会

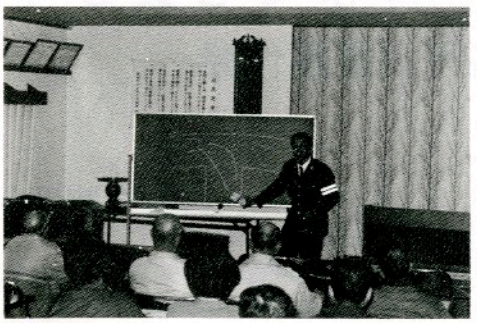
6会場で374名受講

去る四月十八日から二十三日までの六日間にわたり、村内の六会場で村交通安全協会鮫川支部・村交通対策協議会主催による交通安全講習会が開催され三七四人の方が受講しました。

これは、免許人口二、四九七人の約一五%が受講したことになります。

会場別の受講者数は次のとおりです。

会場	受講者 名
西野会場	52
西山会場	59
中央会場	116
富田会場	58
渡瀬会場	40
青生野会場	49
計	374



▶ ユーモアを交え、実例をお話しする長田巡査部長



▶ 熟心に受講する運転免許証所持者の皆さん

地方自治に功績

栄えある叙勲　勲五等瑞宝章

元村議会議長　大楽勝男氏



大字赤坂中野字大塩の大楽勝男さんが、長年にわたる地方自治への功績が認められ、このたびの春の叙勲で勲五等瑞宝章を授与される光栄に浴しました。

大楽さんは、昭和三十四年村議会議員に就任して以来、村議会議員五期（うち議長二期、総務常任委員長二期）をはじめ、公民館長五年、社会教育委員四年、交通安全協会支部役員十二年、東白川地方町村会議長会会長二年など数々の公職等を歴任されました。

また、現在は人権擁護委員として昭和四十五年から十八年にわたり村政発展のために活躍されています。

五月十日に、知事公館で松平県知事から勲章の伝達があり、また十三日に皇居において天皇陛下の拝謁をうけられました。

栄誉ある永年勤続功労章

消防庁長官表彰　岡部副団長

多年にわたり、消防団業務に尽力されてきた本村消防団副団長の岡部博さんに、このほど消防庁長官から『永年勤続功労章』が贈られました。

岡部副団長は、昭和三十二年に鮫川村消防団に入団し、昭和五十六年には副団長に就任して現在も活躍されています。



県消防協会東白川支部長に松崎消防団長三選される

このたび、福島県消防協会東白川支部で役員改選が行われ、鮫川村消防団長の松崎清次さんが支部長に再選されました。

松崎団長は、昭和五十九年四月に支部長に就任して以来、二期四年にわたり要職を勤めてきましたが、今までの実績が評価され今回三たび選任されたものです。



御礼のことば

四月三日、竹飛歩学園を開園させていただくことができました。

お力添えくださった方々、あたたかいお心で受けとめてくださった方々、村のすべての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、いろいろご迷惑をおかけすることがあると思います。どうぞご指導ください。いろいろお教えください。

鮫川村が大好きな私たちどうぞ末永くよろしくお願いいたします。

竹飛歩学園一同

身体障害者相談員に

北條昭一さん

このたび、大字赤坂西野字岫長の北條昭一さんは、福島県から「身体障害者相談員」に委嘱されました。

相談員の主な業務は、村内に住んでいる身体に障害がある人たちに対しての相談や指導などを行います。

委嘱期間は昭和六十三年四月一日から昭和六十五年三月三十一日まで二年間です。

困っていることなどありましたら、気軽にご相談ください。

電話番号　四九－二一九一

から1年 —— その後の復旧状況

63年度から 造林開始

江竜田地区の林野大火災から一年経過しましたが、被災された地元の皆さんの熱意ある努力によって、伐採、搬出、地ごしらえなどの作業が順調に進んでいます。

村では、六十三年度から実施される被害地造林に対して県補助（48％）に村単独で12％の補助金を上乗せして復旧を図る予定です。

林野火災地復旧計画

年度	復旧計画	
	特殊地ごしらえ (ha)	被害地造林 (ha)
初年度 (62年度)	(2.2) 27.8	(0) 0
第2年度 (63年度)	(23.8) 32.2	(17) 20
第3年度 (64年度)	(0) 10	(9) 25
第4年度 (65年度)	(0) 0	(0) 25
計	(26) 70	(26) 70

( )は県行造林計画外数



▲ これから、伐採、地ごしらえなどの作業をして復旧を図る

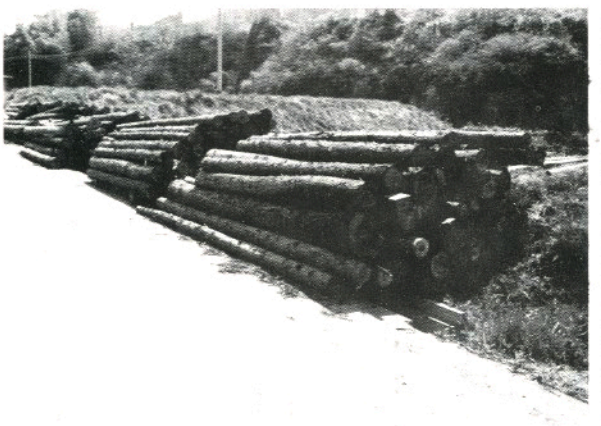




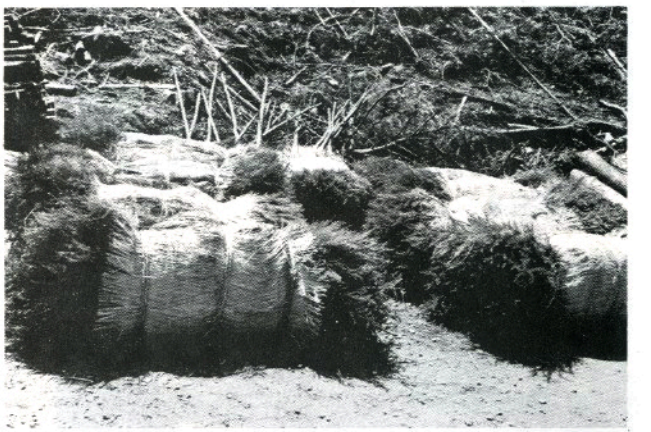


▲ 被災木の伐採、搬出、地ごしらえも完了し、植林できる状態にまで復旧

江竜田地区 林野大火災



▲ 搬出された被災木



▲ 地ごしらえが完了したところには、今年植林予定の苗木が運ばれている

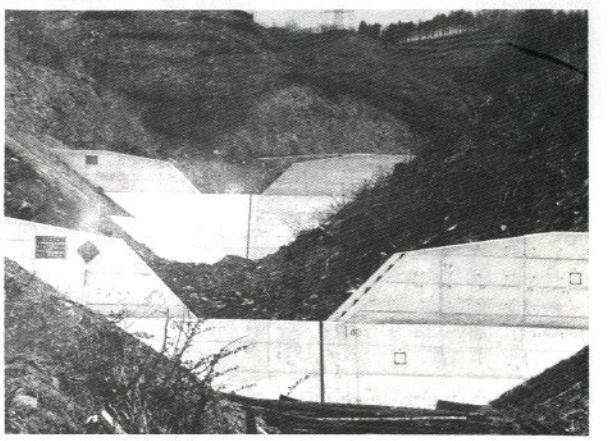
林野火災復旧造林現地研修会

林野火災で被害のあった跡地に植林するための「林野火災復旧造林現地研修会」が四月二十六日に現地で行われました。

研修会には被災者約二十名が参加し、江竜田公民館前で、まず村長があいさつをした後、東白川郡森林組合から被災木の整理状況、奥久慈木材流通センターから被災木の販売状況の報告がありました。

その後、西野沢地内の被災地で棚倉林業事務所の遠藤業務係長が講師になり、復旧造林にあたっての留意点の説明や造林の指導が行われました。

研修会に参加した被災者も実際に苗木の植付を行い、造林について研修しました。



▲ 二次災害防止緊急治山事業として砂防ダムが3基設置された



▶ 苗木の植付を現地で指導をうける参加者



▲ 研修会で開催のあいさつをする村長

"村づくりおもしろ講座"始まる

鮫川村ふる里振興協議会(村・農協・商工会で結成)が、二月から受講生を募集していました「村づくりおもしろ講座」の開講式が、四月二十五日午後七時から農業技術指導センターで行われました。

開講式の冒頭で、主催者を代表して芳賀村長が「厳しい時こそ暮しの足元を見直すことは村づくりの基本であり、またそれができる人づくりをすることが何よりも優先しなければならない。受講生の皆さんに大きな期待を抱いています。」と今回の講座の意義についてあいさつがあり、受講生の中から運営委員を選出して開講式を閉じました。

今回受講生になられた方は、二〇代から六〇代までの七七名です。

また、職業も農業、商工業、会社員、役場・農協・商工会・土地改良区・森林組合・郵便局職員、竹飛歩学園開設者等バラエティに富んでいます。



▲ 開講式であいさつするふる里振興協議会長の芳賀村長



▲ 熱心に講演に聞き入る受講生の皆さん

〈運営委員〉
▼委員長関根昭二▼副委員長白坂久幸▼委員橋本正嗣、斉須信子、三瓶 稔

記念講演会を開催

開講式終了後、引き続いて記念講演会が開催されました。

講師に農山村振興コンサルタントの大沢章氏を迎えて、「ヒット商品は足元にある…山野草の活かし方を考える」と題した講演を聞きました。

大沢先生は「鮫川村は山野草の宝庫ともいえる地域で、市場関係者も注目している。」と切り出し、村内を自ら歩いて採取してきた山野草等を展示して、一つひとつ丁寧に加工から商品化にいたるまでの利活用法を講演されました。

※ 受講希望者は、役場企画調整課まで申し込んでください。

⑤月⑥月の健康カレンダー

種別		実施日	対象者	受付時間	会場
乳幼児健診	4カ月健診	5月11日(水)	63年1月生まれの者	午後1:00～2:00	棚倉保健所
	〃	6月8日(水)	63年2月生まれの者	〃	〃
	乳児健診	5月24日(火)	7カ月＝62年10月.11月生まれの者 10カ月＝62年7月.8月生まれの者	午後1:10～1:20	山村開発センター
	3歳児健診	6月29日	60年4月.5月生まれの者	午後1:10～1:20	〃
	1歳6カ月児健診	6月29日	61年10月.11月生まれの者	午後1:30～1:40	〃
妊婦健診	母子健康手帳交付日	5月14日28日(土) 6月11日25日(土)	妊娠が明らかな人で鮫川村に住所のある人。(印かんを持参してください)	午前9:00～正午	役場(相談室)
予防接種	ポリオ	5月17日(火)	3カ月～4才まで	村内7カ所で実施 (対象者には別途通知)	
	麻しん(はしか)	5月19日(木)	1才6カ月児～6歳未満		
結核検診	ツベルクリン反応検査	6月14日(火)	3カ月～4歳まで		
	判定・BCG	6月16日(木)			

※各健康診査には、母子健康手帳を持参してください。
※詳しい日程は別に通知しますが、変更する場合もありますのでご承知ください。

お元気ですか 保健婦です

だるさ・つかれを感じるとき

暖かくなると疲れやすくなったり、だるさを感じたり、ボーッとしたり……皆さんはいかがでしょうか。

身体のだるさ

暖かくなると、身体が活発に動きだすため、ホルモンの関係や、ビタミンの不足によるだるさや疲れを感じます。

こうした春のだるさは、たんぱく質やビタミンの多い食物を多く摂取したり、仕事の合間を利用して軽い体操など、適度の運動をお進めします。

運動のしすぎ

この場合も疲れを感じますが、休養や睡眠により解消できます。

病気がひそむ

疲れ、だるさがなかなか消失しない場合は、病気があったりします。

①発熱

身体のだるさを感じる最も多い例は発熱でしょう。平熱より2～3分高くなっただけでもだるさを感じます。もし、発熱が長く続く場合は医師に相談しましょう。

②血圧の下がりすぎ

高血圧で、降圧剤を用いて血圧を下げている場合、血圧が下がりすぎると全身のだるさを感じますので注意してください。



そんな時は、主治医に相談しましょう。

③低血圧症

一般に低血圧の方は、疲れやすいと言えます。栄養素のバランスがとれた食事をとったり、夜ふかしをしないで規則正しい生活を心がけましょう。

心のだるさ

身体の病的な状態だけでなく精神的にもだるさを感じることがあります。

現代社会の変化は著しく、職場関係や人間関係によるストレスが増大しています。

休日は、自分の気持をのびのびと発散させ、疲れをのこさないように日頃のストレスを上手に解消させ、また余暇には心身ともにリラックスした時間をつくるよう心がけましょう。

いよいよ胃がん検診が始まります

症状がなくても定期検診を

がんは、我が国の死亡順位第一位の病気であり、鮫川村でも脳血管障害と並んで第一位の病気です。中でも死亡率の高いのが胃がんです。

胃がんは、ある程度進行するまでは、自覚症状がなく、気がついた時には、手遅れになりやすい病気といえます。

胃がんを早期に発見するためには、毎年定期的に検診を受けることが大切です。

最近はバリウムも大変飲みやすくなり、集団検診で早期がんの発見率も40％以上と検診の効果も高くなってきています。

家族そろって検診を

① 対象

村内に居住する四〇歳以上の方全員、会社等に勤務している方も含みます。（現在、胃に関する病気で通院中の方は除きます。）

② 胃がん検診カルテ

カルテは、対象者全員に配布しますので、必要な事項を記入して、当日持参してください。

③ 検診にあたっての注意

検診前日の夜九時以降は、お茶、水、たばこ、ガム等はいっさい口にしないでください。

午前六時三〇分から始まります。

実施日	受付時間	場所	対象地域
五月三十日	午前6：30～8：00	青生野集落センター	青生野
五月三十一日		渡瀬区集落センター	渡瀬
六月　一日		西山区集落センター	西山
六月　二日		西野生活改善センター	赤坂西野
六月　三日		富田区集落センター	富田
〃		山村開発センター	赤坂中野
六月　四日（2台）		山村開発センター	赤坂東野石井草

※都合によって対象地区で受けられない場合は、別の会場でも受けられます。

すばらしい出来栄え

渡瀬かるた



このたび、渡瀬小学校では渡瀬地区青少年健全育成協議会の共催により、渡瀬長寿会の協力を得て「渡瀬かるた」を作成しました。

一年から六年までの児童一人一人が句（読み札）を受け持ち、これを頭にして歴史や文化、地誌などを内容として、五七五の句を作りました。

作成に当っては、家族みんなで相談したり、老人クラブの人たちに聞いたりして句を作り、これに絵をつけました。

このカルタを作ったねらいは

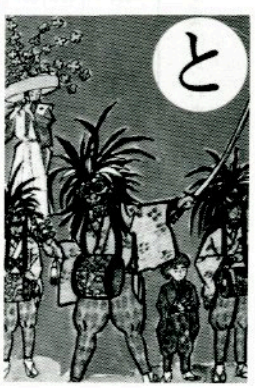
㈠　歴史的、文化的、地誌的に「渡瀬」を見直すことにより、郷土愛を育てる。

㈡　祖父母、父母、子、孫などが話し合いの場を多くもつことにより、家族愛をさらに深める。

㈢　近隣の老人の話を聞くことを通じて、地域社会の連絡意識を高める。

作られたカルタは、各家庭などで利用されております。







渡瀬かるた読札

い　幾年を　積み重ねつつ　渡瀬（文化）地区

ろ　老人と　ぼくらと共に　わら細工

は　初詣　成績あがれと　北野神社

に　西陽映え　紅染める　江竜田の滝

ほ　ほの暗き　杜にたたずむ　薬師堂

へ　変遷を　無言で語る　老桜の木

と　遠き日を　今に伝える　ささら舞

ち　近づけば　心なごみし　権現様

り　りんどうの　秋は花咲く　おらが故郷

ぬ　沼ありと　語りつがれし　鮫池の跡

る　留守番も　しっかり守るよ　少年消防

を　遠方に　見える山王　綿帽子

わ　渡瀬の　古き歴史か　観音寺

か　可愛いな　みんな元気に　保育園

よ　横並び　お手をつないで　一輪車

た　たくましい　子に育てよと　P・T・A

れ　礼儀よく　ぼくとわたしで　守ろうよ

そ　そうめんの　滝は緑の　百景だ

つ　伝えたい　きれいな自然と　文化財

ね　熱演に　拍手を送る　学習発表会

な　長屋門　昔を語る　今も尚

ら　ライスセンター　技術が生み出す　特選米

む　村人に　飢饉の記碑の　教えあり

う　運動会　渡瀬名物　盆おどり

え　沿道に　コスモスの花　秋近し

の　野仏が　馬産の盛衰　物語り

お　面影を　墓石に残す　越虫遺跡

く　くねくねと　曲りし深沢　冬厳し

や　和らぎの　ゲートボールで　汗流し

ま　孫四郎　大蛇襲いし　渕があり

け　県南に　渡瀬スポ少　名を残し

ふ　故郷の　緑再び　苗を植え

こ　校章は　渡瀬川と　山王山

て　天気よく　こんにゃくほりは　家中で

あ　朝夕に　思いやり育つ　二八九国道

さ　さわやかに　牧場広がる　鹿角平

き　喜色満つ　花いっぱいで　県知事賞

ゆ　夕餉には　かぼちゃの香り　古里の味

め　目をみはる　精密加工の　鮫川機器

み　水清き　渡瀬川に　山女群れ

し　縄文の　昔をしのぶ　田苗下遺石

ひ　百余年　歴史を刻む　渡瀬小

も　諸人の　汗しみわたる　金掘跡

せ　全区民　歓声広がる　運動会

す　素晴しい　和で輝いた　ラジオ体操



屋外給食

毎年実施している屋外給食が、今年も4月28日に村内の幼稚園、児童館、小・中学校で一斉に行われました。

この日は天気もよく、桜の花もちょうど見頃で絶好の屋外給食日和となり、お弁当を持って思い思いの場所に出かけました。

一日郵便外務員



4月20日の「逓信記念日」に鮫川郵便局から「一日郵便外務員」に任命された根本悦子さん（田中ニット勤務）と近藤久美子さん（東白川農商高校鮫川分校3年）の2人は、役場を訪れ、緑川助役に郵便物を手渡しました。

西野小学校に寄附

このほど、大字赤坂西野字石ノ花の舟木三郎さんは、會孫の入学を記念して「学校教育のために役立ててください」と現金五万円を西野小学校に寄附されました。

西野小学校では、心のこもった舟木さんの善意に感謝し、早速図書を購入することにしました。

文芸



俳句

鮫川高校　沢　草二

黄水仙峡の老女の涙ぐせ
大　塩　矢吹　呂孝

わらび狩り乙女の唄が谷をゆく
押　野　山本　恵子

日脚のぶリュックの埃バサと
ふる
道少田　山本　朗史

白き炎の一枝一天花木蓮
横　座　矢吹　茂

畑囲む木の芽明るき助け雨
新　宿　斉須　信子

おさげ髪はらいのけつつ蓬摘む
宿ノ入　田中　義明

冴えざえとうぐいすひびき校舎明く
道少田　山本五十鈴

猫の子のまるき目鼻に集まる灯
上　高坂　蚯切

クレソンの息吹ける渓の雪まだら
反　田　小山田清哲

母が亡くともクロッカスの花一輪
福島市　中井　恒峯

水温み鴨の足まで赤く見ゆ
綴　金沢　暁舟

春告げる獅子舞の笛離りゆく

短歌

新　宿　杉山　忠男

くぬき苗三日かゝりて二百本植え果つ夕べ酌む酒うまし
名　下　須藤美代子

滝ざくら見に行かんとて年年を語らうのみに過ぎゆかんとす
広　畑　岡部ヒサ子

いつの間に変りゆきしか在来のタンポポ失せて洋種群咲く
越　虫　星　武

減反を補わむとてバックホーン排水工事にしきり稼動す
酒　垂　石井　カヤ

都に住む妹がわれの太り過ぎ気にして飯を減らせと言いくる
関　口　藤田　マサ

夜の霰止みて明けたる朝の陽に庭面の霰玉なし光る
青生野　吉成　タカ

ふる里の奥がに名たる朝日山なこそ海原おぼろに見ゆる
折　戸　阿久津ミツ

娘の家の奥座敷の床柱樹齢百余年の李に魅せらる
新　宿　関根　京子

遠くより灯りを見つゝ淋しさをたえるわが身に細雪降る
棚　橋　関根　一好

ささやかな宝くじ買う吾を見て友は笑いつ金はあるやと
遠ケ竜　須藤　幸子

かたくりは枯葉をすこしもちあげて色あざやかに咲きて匂いり
巡ケ作　鈴木　米子

久々に子と山に来て三ツ葉摘む嶌のこえ真近にききて

農委だより

農地の有効利用

農地の貸付者に奨励金を交付

農地を安心して貸せる、借りられる、契約期間がくれば、自動的に農地が返ってくる事業があります。

この事業（農用地利用増進事業）により農地を貸せば、貸付期間に応じて、貸し手に奨励金が交付されます。

また、農地が地続きの場合六年以上で更新すると奨励金が再交付されます。貸付期間が長くなればなるほど奨励金も上積みされます。

ただし、いづれも中核農家への貸付が必要となります。

〔中核農家〕

耕作又は養畜のために経営する農用地のすべてについて耕作、養畜している農家です。

つぎに、農作業に従事する青壮年（六〇歳未満）が常時農業に従事しており、借りた農用地を効率的に利用し、村の平均経営規模以上の農家です。

〔面的集積〕

更新の場合や貸借期間に応じ、要件の一つともなります。

これは、借り手が借り入れ農地を含めて、畦畔等で接続している等を条件として、四八アール以上を団地的に耕作していることが必要となります。

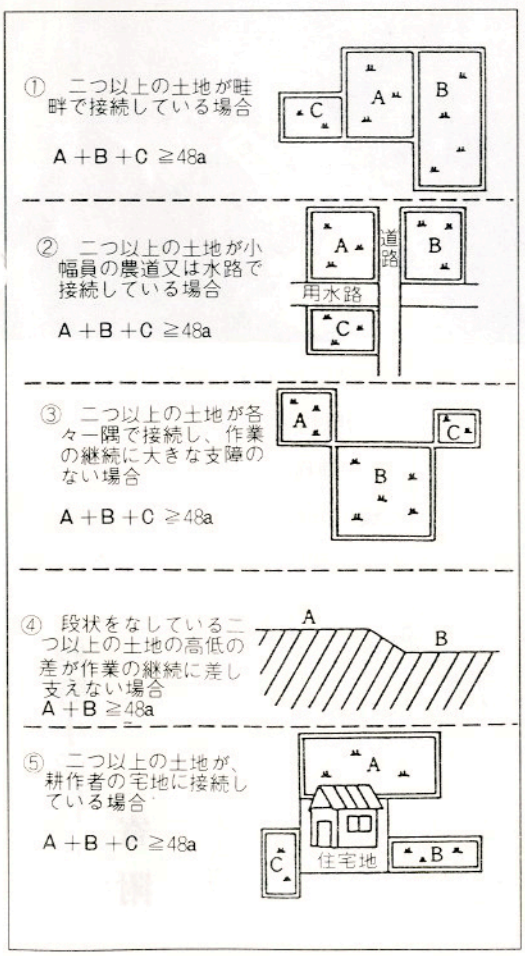
農地流動化奨励金交付要件

（10アール当り）

貸付期間（奨励金）	新規の要件（奨励金交付を受けたことのない農地）	更新の要件（奨励金交付があった農地）
3年以上～6年未満（1万円）	①中核農家への貸付 ②奨励金の交付対象となったことがない農用地、かつ面的集積48a以上	
6年以上～10年未満（2万円）	①中核農家への貸付 ②奨励金の交付対象となったことがない農地	①中核農家への貸付 ②面的集積（48a以上の団地化）
10年以上（3万円）	①中核農家への貸付 ②奨励金の交付対象となったことがない農用地	①中核農家への貸付 ②面的集積（48a以上の団地化）

なお、更新の場合は、6～10年未満16,000円、10年以上24,000円になります。

面的集積要件を図で見たら



みんなの相談室

農業者年金

〔問〕 私は今年の九月に六〇歳になり経営移譲年金の受給に該当します。今年の六月に農業経営の規模拡大のため、畜舎用地に転用しようと思います。

このような場合、農業者年金経営移譲年金の受給が遅くなると聞きましたが本当でしょうか。

〔答〕 農業者年金経営移譲年金を受給するためには、基準日が大切になります。基準日とは、経営移譲の終るちょうど一年前の日です。この基準日から経営移譲終了日までの間に畜舎等の農業用施設用地に転用したりして農地を減らしますと、すべての農地を適格な後継者、又は第三者に経営移譲したと認められません。

このような場合、基準日は、転用の許可の日となりますので、基準日が、後日になり、遅くなります。

ご質問のような場合、今年の六月に転用しますと基準日が六月となりますので、今年の九月に経営移譲年金は該当しませんので来年の六月が該当の月となります。

体育指導委員

地区名	氏名	TEL
赤坂西野	増子　久美	49-2455
	緑川かつ子	49-2366
西山	関根啓太郎	49-3065
	関根　徳次	49-2489
赤坂中野	生方　利夫	49-2120
	岡部由美子	49-2130
赤坂東野 石井草	芳賀　義美	49-2528
	藤田　朋子	49-2018
富田	戸村　正明	49-2683
	鷲野谷重一	49-3255
渡瀬	芳賀　登	49-3287
	菊地　常夫	48-2322
青生野	岡部　照夫	48-2312
	生田目忠一	48-2115

（敬称略）

心と体の公民館だより

健康のために

スポーツでストレス解消！

昭和六十三年度の第一回体育指導委員会が、去る四月二十二日に山村開発センターで開かれ、本年度の社会体育関係事業計画について審議されました。

スポーツの振興と普及をめざす各種スポーツ教室は、次のとおりで、体育指導委員の方々が中心となって助言、指導にあたります。

また、実技の指導、ルールの説明、講習会等については、それぞれの地区において随時指導にあたることにしています。

特に、本年度の重点普及活動として、バレーボール（九人制）、綱引き競技をとり上げます。

五月	バレーボール教室
六月	テニス教室
	綱引き競技教室
七月	水泳教室
八月	バレーボール教室
	グラウンドゴルフ教室
九月	バレーボール教室
	ウィンドミル投法教室
二月	スキー教室

○バレーボール（九人制）

県民スポーツ大会の流れで、ゴム制ボールを使用し、健康増進競技として普及した八人制家庭バレーボールが、皮制ボールを使用するバレーボールになじんだ年代層の増加に伴い、九人制バレーボールへの移行によるもので、これの指導と普及を図るものです。

○綱引き競技

県教育委員会の正式種目ではなく、民間企業が主唱するスポーツですが、親しみやすさと手軽さによりブームをよんでいるスポーツで、これの指導と普及を図るものです。

この二種目については、村体育協会が主催する村の大会種目にもとり入れられており地区単位の助言、指導に力を入れることにしています。

なお、教室・講習会等の開催にあたっては、チラシ等によりお知らせしますので、健康増進と、余暇を上手に使った楽しみのある生活を過すためにぜひ参加してみてください。

スポーツに関することは、体育指導委員に気軽にご相談ください。

新社会教育委員に委嘱状交付

社会教育委員の任期満了に伴い、四月一日付で新しい委員五名が任命されました。

社会教育委員は、社会教育法に基づき委嘱されるもので、その職務は、

●社会教育に関する諸計画を立案すること。

●教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。

とされており、本村の社会教育に対してその方向づけを示す重責を負っています。

昭和六十三年度の第一回社会教育委員会が四月二十八日に山村開発センターで開かれ昭和六十二年度の社会教育関係事業実績、並びに昭和六十三年度の社会教育関係事業計画について審議されました。

新しく委嘱された委員さんは次の方々です。

社会教育委員

任期 昭和63年4月1日～昭和65年3月31日

氏名	住所
和知　賢示	大字渡瀬字青生野7
高木　モト	大字赤坂中野字薄久保15
生田目一広	大字西山字辺栗67－1
青戸　孝夫	大字富田字彦次郎183
矢吹　一二	大字赤坂西野字仁田99

（敬称略）



▶昨年実施されたバレーボール審判講習会の様子

体育施設の使用申請は農業者トレーニングセンターへ

〝赤十字社員〟に加入しましょう

日本赤十字社が活動する諸事業の財政基盤は〝社員制度〟によって支えられています。

赤十字〝社員〟とは、赤十字が行う人道・博愛に基づく諸事業の趣旨を理解し、赤十字事業及び赤十字思想の発展を支援するため、毎年社費を拠出してくださる方々のことで、どなたでもご加入いただけることになっています。

今月は「赤十字社員増強運動月間」になっていますので、これを機会に、是非赤十字社員にご加入くださるようご協力をお願いいたします。

赤十字社員にご加入いただく窓口は、役場住民課又は区長さん、地元の民生委員さんの方々です。

お知らせ

第25回「新有権者のつどい」参加者募集！

新有権者の皆さん、県内の仲間と楽しいひとときを過ごしてみませんか。

県内の新有権者が集い、成人として必要な政治、経済、文化等の学習及びレクリエーション等を通じて、成人としての自覚を深めるために、「新有権者のつどい」が開催されます。

希望者は、六月六日（日）までに村選挙管理委員会事務局（電話四九－三一一一）に申し込んでください。

○ **期日** 六月二十五日（土）から六月二十七日（月）

○ **会場** 猪苗代町「国立磐梯青年の家」

○ **参加者の資格** 昭和六十三年四月一日現在で一八歳から二一歳までの者

○ **参加費用** 県及び村で負担します。

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会）

○ 字二本田 石原正人様亡母（シン様）の遺志により 一〇、〇〇〇円

○ 字広畑 蛭田彦忠様亡父（義男様）の遺志により 三〇、〇〇〇円

○ 字荻ノ沢 増谷隆夫様亡父（己佐男様）の遺志により 一〇〇、〇〇〇円

（村役場へ）

○ 中野長生会様 雑巾五〇枚

心配ごと相談

5月20日（金）
午前10時～午後2時
山村開発センター

自衛官募集

お問合せは
役場総務課へ

おめでた

三月
下木之内俊幸 父木之内喜代寿

四月
中内 中川西健太 父中川西吉典
酒垂 石井文也 父石井政夫

おくやみ

四月 歳 世帯主
小名澤 有賀ハル87 有賀久男
二本田 石原シン85 石原正人
伊柳沢 柿沼源三56 柿沼 一
広畑 蛭田義男82 蛭田彦忠
荻ノ沢 増谷己佐男75 増谷隆夫

今月の納付

固定資産税 第一期
国民年金保険料
5月25日納期
県自動車税
5月31日納期

休日の在宅当番医

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
5月15日(日)	薄葉	中島	務川
22日(日)	大木	車田	山本
29日(日)	東白川中央	根本	——
6月5日(日)	和田	厚生病院	矢内・大野診
12日(日)	阿部	——	鹿岡（産）
19日(日)	藤田	石川	原（外）
26日(日)	勝田	——	矢吹

ゴミの収集日

収集コース	種別	5月	6月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～漆木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	2.9.12.16.19 23.26.30	2.6.9.13.16 20.23.27.30
	不燃物	13.27	10.24
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～鮫川分校（木曜のみ）～伏木田～大塩	可燃物	2.9.12.16.19 23.26.30	2.6.9.13.16 20.23.27.30
	不燃物	13.27	10.24
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	11.18.25	1.8.15.22.29
	不燃物	12.26	9.23
石井草～前田～鬼越～戸倉～蒼田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	11.18.26	1.8.15.22.29
	不燃物	20	17
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	11.18.25	1.8.15.22.29
	不燃物	11.25	8.22
官代～檜久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	11.18.25	1.8.15.22.29
	不燃物	13.27	10.24

※ 休日は、可燃物・不燃物を出さないでください。
※ ゴミは、収集日の朝に出してください。